

適合するようにとの指示があった。

当指針に沿って、当会の定款第38条が、現在「5分の1以上」となっているのを「過半数以上」と改正する方向で、今後文部省と協議し細部を詰めることに決定した。

ただ、本改訂は社団法人としての学会の存亡に係わる大きな影響を与えることが予想されるため、本年の大会に対し、委任状の提出等に最大限の努力を試みて、会員制度の見直し等今後の検討材料とすると共に、学会活動へより積極的に関与するよう、「天気」を通じて理事長名で全会員に訴えることになった。

(2)1999年度事業計画・予算(案)

1999年度の事業計画・予算は、機関誌等の発行、会議等の開催、大会・研究会等の開催・研究業績の顕彰と研究の奨励、普及活動、国際学術交流活動等、基本的に従来のものを継承するが、関連学会の協力による地球物理学の総合的理解を深めるため、地球環境科学関連学会協議会、地球惑星科

学関連学会合同大学、2000年国際オゾンシンポジウム準備委員会、IUGG(国際測地学・地球物理学連合)2003年大会準備委員会等への参加などにより、対外活動の強化に努める計画である。

(3)理事の交替

人事異動等により、本部といくつかの支部で理事の交替が必要となる見込みであり、それぞれ手続きを進め、総会の承認を求めることになった。

7. その他

(1)第30期第8回常任理事会

平成11年3月25日(木)13時30分から、気象庁内気象学会事務局で開催。

(2)第30期第3回理事会

平成11年3月25日(木)15時00分から、気象庁観測部会議室で開催。

(3)第30期第1回評議員会

平成11年3月25日(木)17時00分から、竹橋安田ビル四季交楽「然」で開催。



1999年度日本地下水学会・日本水文科学会合同シンポジウムのお知らせ

期 日：1999年5月28日(金)11:00~17:15

会 場：筑波大学大学会館ホール

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

シンポジウム課題名：「地下水環境の現在と未来~21世紀への提言~」

発表内容：

基調講演 村岡浩爾(大阪大学)

「日本の地下水保全・利用の歴史の変遷と今後のあり方」

パネリストによる講演

コーディネーター 神野健二(九州大学)

① 地下水環境保全への環境庁の取組み

② 地下水環境保全への国土庁の取組み

③ 水循環再生の試み

④ 地下水保全への農林水産省の取組み

⑤ 都市域の地下水環境—工業用水法等の適用と現状

⑥ 地下水質からみた地下水保全と21世紀への提言

⑦ 水循環からみた地下水保全と21世紀への提言

パネルディスカッション